

信州大学医学部保健学科理学療法学専攻における  
「トレーニングを行っていない健常若年者におけるレジスタンストレーニングの  
反復回数の用量反応関係の検討」に参加された方へ  
臨床研究にご協力をお願いいたします。

2022年6月30日

**「生体電気インピーダンス法における筋量とチェストプレスおよびレッグプレスの 10 repetition maximum の関係」に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。  
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5556
研究課題名	生体電気インピーダンス法における筋量とチェストプレスおよびレッグプレスの 10repetition maximum の関係
所属(診療科等)	医学部保健学科理学療法学専攻
研究責任者(職名)	百瀬 公人(教授)
研究実施期間	医学部長による許可日～2027年5月31日
研究の意義、目的	生体電気インピーダンス法における筋量とチェストプレスおよびレッグプレスの 10回反復できる最大重量との関係を明らかにすることを目的とした研究で、新たな筋力測定の方法論の開発に貢献すると考えられます。
対象となる方	2020年10月15日から2022年5月1日の期間に当専攻における「トレーニングを行っていない健常若年者におけるレジスタンストレーニングの反復回数の用量反応関係の検討(試験番号:4896)」に参加された方
利用するデータ	年齢、性別、身長、体重、レジスタンストレーニングの経験の有無、レッグプレスおよびチェストプレスの筋力データ、筋量を含む身体組成データ
研究方法	過去の研究より上記の内容を収集し、筋量と筋力との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 杉本 穂高(信州大学医学部保健学科理学療法学専攻・助教) 電話:0263-37-2413

**既存のデータを研究、調査、集計しますので、新たな検査の必要はありません。**

**当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。**

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分のデータ等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。